

ふれあいネットワーク

川越町社会福祉協議会だより



以心伝心

平成24年1月号

い しん でん しん

第40号

平成23年12月1日現在 人口14,293人 65歳以上人口2,483人 高齢化率17.4%

編集発行 社会福祉法人 川越町社会福祉協議会 〒510-8123 三重県三重郡川越町大字豊田一色314
TEL(059)365-0024 FAX(059)365-2940 E-mail: kawafuku@ccnetmie.ne.jp



今年も登場!!共募のマスコット
"愛ちゃん"



災害時、町内の危険なところは？

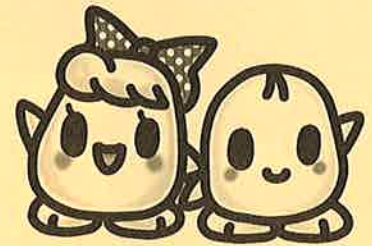


車いす介助の体験コーナー



今年は本格金魚すくい

ふれあい祭 2011



今年も好評♪ボランティアさんの屋台



昭和の紙芝居屋さんを再現



射的コーナーも長蛇の列でした

11月3日(木・祝)にふれあい祭り2011が開催されました。当日は天候にも恵まれ、また今年は川越町町制50周年の記念の年ということもあり、昨年よりもたくさんの方にご来場いただきました。当会の催しとして、午前にはスタンプラリー、午後からは昭和レトロ縁日を行いました。スタンプラリーでは、川越町の歴史、防災マップ、車いす体験、自助具体験、それぞれのコーナーをチェックポイントで設置し、すべてまわり終えた皆さんへ、福島県会津の名物「起き上がり小法師」をはじめとする景品をお渡しいたしました。昭和レトロ縁日では、金魚すくいや射的、駄菓子屋などの出し物や紙芝居や折り紙教室などの催しで昭和の昔懐かしい雰囲気を楽しんでいただきました。

この他にもボランティアさんの屋台コーナーやくろがね作業所のバザーコーナーなど各コーナーで例年以上の盛り上がりが見られました。

たくさんのご来場誠にありがとうございました。

新年を迎えて

社会福祉法人川越町社会福祉協議会

会長 河村 京子



新年明けましておめでとうございませう。皆様にはお健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年3月の東日本大震災、また台風12号による三重県南部の被災など、自然の恐ろしさを実感した一年でありました。今なお大変な思いをしておられる沢山の人の事を思うと胸が痛みます。特に、家や田畑があっても帰れない福島の人々の辛さは計り知れません。私達はあらゆる面で長い支援をしなければならぬと思います。

さて、今社協は、地区社協における小地域福祉活動計画の策定と生活・介護支援サポーター養成事業とで、地域福祉の推進に取り組んでいます。すでに川越町では、26人の民生委員さんが、各地区において活発に活動され、昨年は優良民生委員児童委員として全国表彰されました。平成21年度に始まったサポーター養成講座を受講されたサポーターの皆様と一体となり、地域福祉の原動力となつて頂ける事と信じております。また、昨年は特にボランティアの存在がクローズアップされました。ただ、どの団体もそうですが、高齢化と、まだまだ男性ボランティアが不足しています。川越町の団塊世代の皆様、ボランティアの一步を踏み出してみませんか。また、違う人生が見えてきます。

昨年は大災害に見舞われましたが、いざという時に頼れる地域を作ることが、地域福祉の目的です。その為には、普段から地域にとけこんで顔なじみを増やし、様々な絆を強める事が、何よりも大切です。平常時の絆が、災害時に活きる事になるのです。自助、共助で、自分達の地域を守りつつ、公助として行政の防災計画に、災害ボランティアセンターがきちんと位置づけられる事を願います。

今年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

ひとり暮らし高齢者交流会・餅つき大会及びお食事会



コーラスグループ・ほほえみの皆さん



味付けは4種類♪



力強い杵さばき!!



大正琴のなごみ会の皆さん



昼食はちらし寿司でした♪

町内在住で75歳以上のひとり暮らしの方対象の餅つき大会及びお食事会を昨年12月7日(水)に開催しました。

毎年好評を頂いている行事でもあり、朝早くからセンターへ足を運ばれて開会を心待ちにされている方もみえました。今回初めて参加された方も多くみえ、当日は54名の方に参加いただきました。

餅つきは午前中の貯金体操、嚙下体操の後に始まり、民生児童委員さんとともに参加者さんが杵を持って力強く餅をつかれていました。つきたてのお餅は4種類の味付け(あんこ・きな粉・大根おろし・菜っ葉)で参加者の皆様に振舞われました。「もっと食べたいなあ」「あんこのはもう無いんか?」など、ボランティアさん特製の味付けにとってもご満悦な様子でした。

餅つきの後、午前になごみ会さんによる大正琴の演奏、午後にはコーラスグループ・ほほえみさんのコーラスを披露していただき、馴染み深い曲を一緒に口ずさまれていました。

交流会が終わり、会場を後にされる際、毎年参加されている方からは「今年も楽しかったわ!また来年も楽しみにしてるよ!」と、初めて参加された方からは「民生委員さんに毎年声をかけてもらってたけど、今回参加してみて良かった!」と、声をかけていただき、皆さん大変ご満足頂けた様子でした。来年も皆さんが楽しめる企画を用意できればと考えております。

今回交流会開催にあたり、ご協力頂きました民生児童委員の皆さん、ボランティアの皆さん、誠にありがとうございました。

おしえて！川越町社協！

前号より始めましたこのコーナー。川越町社協2年目職員の総務福祉グループ・伊東が先輩職員の方々に川越町社協の活動や地域福祉活動について教わり、社協の魅力について皆様にもっと知っていただくというものです。

今回は、“川越町社協”ってどんなところなの？何をしているところなの？という基本的な疑問にせまりたいとおもいます

○“社会福祉協議会（社協）”って何ですか？

社会福祉法という法律において地域福祉（地域のしあわせ、町民全体のしあわせ）の推進を図ることを目的とする団体となっています。役場さんと同じだと思われがちですが、社会福祉法人というまったくの別団体です。しかし、地域福祉（地域のしあわせ、町民全体のしあわせ）に努める団体であるので、役場さんと密接な関係があります。

○社協はどんなことをしているのですか？

町民皆様の「**⑤**だんの **④**らしの **③**あわせ」を願い業務に取り組んでいます。職員は、社会福祉士やケアマネージャー、保健師、介護福祉士、ヘルパーなどの専門の資格を持った職員、また、専門性を持った職員を配置しています。川越町社協は、総務福祉グループ（川越町社協全体の運営管理、各種団体事務など）、地域包括グループ（特定高齢者・要支援者への支援、様々な相談対応など）、居宅支援グループ（要介護者への相談・支援などの介護保険に関することなど）、福祉サービスグループ（デイサービス、ヘルパーサービス、訪問入浴のサービスの提供など）、作業所グループ（障がい者の支援など）の5つのグループ（係）で日々様々な業務を行っています。

○社協にはどういったことを相談できますか？

生活上の困りごとについてなら、どんな小さなことでも相談を受けます。たとえば、高齢者の方の生活上の困りごとの相談や権利擁護（認知症などで金銭管理が出来なくなった高齢者の生活を守る仕事）の相談、介護保険に関する相談など。町民の皆様気軽に相談をしていただけるようところがけていますのでご連絡ください。

○川越町社協ならではの取り組みを教えてください。

県内26市町に社会福祉協議会は設置されています。各市町によりそれぞれ人口規模、地域の広さや特徴等が違うので、各市町社協で様々な活動が展開されています。川越町社協としては、各グループ（係）の事業、活動を進める上で、町の人口規模から「顔が見える社協=face to face」をモットーに取り組んでいます。

○これからの社協に求められるものは何ですか？

老若男女問わず、地域全体、町民の皆様が笑顔で暮らしていけるような地域づくりに一役担わなければならないと思います。

また、困りごとがあった時に、社協に相談しようと皆さんから頼られるような組織になりたいし、ならなければいけないと思います。

社会福祉協議会は、住民の皆様がいつまでも笑顔で暮らしていけるように、誰にとっても身近な存在であるべきだと思いました。

町民の皆様が日常生活で困りごとができたときに、「どんなことでもご相談ください!!!」と自信を持って言えるような社協職員に一日でも早くなれるように、日々努力していきたいと思います。



亀崎地区の飯田初雄さんよりみかんの寄付を頂きました。その重さなんと約230キロ!!頂いたみかんは町内の各施設（幼稚園、学童保育所、グループホーム）にもお届けさせていただきました。たくさんのみかん、誠にありがとうございました。

寄 附

ご寄附ありがとうございます
次の方々から社会福祉事業に役立てて下さいと川越町社会福祉協議会へご寄附がありました。

平成23年9月1日より平成23年11月30日まで

金	五、〇〇〇円	匿名	様
金	五〇〇、〇〇〇円	朝明ライオンズクラブ	様
金	三〇、〇〇〇円	匿名	様
金	三〇、〇〇〇円	匿名	様
金	一〇〇、〇〇〇円	匿名	様
金	九五、一四〇円	朝明商工会	様
車椅子		匿名	様
みかん	二三〇kg	飯田初雄	様

善意の窓口

川越町社会福祉協議会では、皆様の善意をお待ちしております。

● こんな時、小さな善意が

- 成人式を迎えられたとき、また就職が決まったときを記念して
 - 結婚が決まったとき、また子どもが生まれたときを記念して
 - 香典返しの一部を
 - バザーなどの催しの収益金の一部を
 - 一円玉を集めて
- 御協力をお願いします。



くろがね作業所・にこにこ祭り

10月10日(月・祝)にくろがね作業所において、にこにこ祭りを開催しました。

秋晴れの天気の中、たくさんの町内の方にご来場頂きました。当日は、焼きそばやフランクフルト、みたらし団子の出店や作業所の自主製作品の販売コーナーやサイコロゲームなど、子どもから大人まで楽しんでいただける祭りとなりました。



老人クラブグランドゴルフ大会・趣味の作品展



10月21日(金)に老人クラブによるグランドゴルフ大会社協会長杯が開催されました。秋季の大会とはいえ、まだまだ夏の暑さが残っていましたが、それ以上の熱い盛り上がりで皆さん楽しんでおられました。見事優勝されたのは、写真の方々です。

また、11月9日(水)から11日(金)の3日間、趣味の作品展が開催されました。写真や書道、水墨画、絵画などの掛け物、手提げ袋や洋服、敷き物などの手芸、また、陶芸や木彫り、人形などの置物といった幅広い作品が出展されました。



男子の部 優勝 石川誠也さん



女子の部 優勝 川村幸子さん



赤い羽根共同募金



今年度も10月1日から12月31日までの期間、赤い羽根共同募金運動にたくさんのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

皆さまからお寄せいただいた募金は、今回掲載いたしましたふれあい祭り、ひとり暮らし高齢者交流会の他に社会福祉大会、身体障がい者(児)交流会、知的障がい者(児)交流会、母子父子家庭交流会、ボランティア育成に役立っています。今年度の募金実績額については、次回の「以心伝心」にてご報告させていただきます。

